一級自動車工学科、自動車整備科 自動車整備・カーボディマスター科 自動車整備・マスターメカニック科 自動車整備・トータルマスター科	2023年度 授業計画

時 期	2年後期	単元	学科	教科名	整備機器取扱2S
科 目	整備機器	教科書等 持参品	自動車整備工具・機器	発行日	2023年3月18日
総時限 必須時限	12時限 11時限			教科 担当	田口 富田 坂本 鵜飼 河合 小池

1. 指導教員の実務経験　該当　非該当

自動車整備士として自動車整備の実務経験がある教員により整備機器の構造・取扱について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1. 自動車検査用機器の取り扱いを理解する。
2. 国家２級試験　検査機器に係るシャシ、工学、法規分野の問題を理解する。
3. 道路運送車両法の内容を理解する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

1. 自動車検査用機器の構成、部品名称を説明できる。
2. 自動車検査用機器の役割、取り扱いを説明できる。
3. 国家２級試験　検査機器に係るシャシ、工学、法規の問題の説明ができる。
4. 道路運送車両法の内容を説明できる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
　○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
・合格点：60点以上
　80点以上：優　　60点以上：良（一級工学科70点以上）　　60点未満：不可（一級工学科70点未満）
・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
　再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

・「自動車整備工具・機器」の検査機器の項目を予習しておくこと。

一級自動車工学科、自動車整備科
自動車整備・カーボディマスター科
自動車整備・マスターメカニック科
自動車整備・トータルマスター科

2023年度 授業計画

時 期	2年後期	単元	学科	教科名	整備機器取扱2S

５．授業概要（時限ごとの主な授業内容）		６．教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容	資料、備品類	数量
1	第8章　自動車検査用機器	自動車整備工具・機器	1
	8-1　概要		
	8-2　サイド・スリップ・テスタ		
2	8-3　ブレーキ・テスタ		
3	8-4　スピード・メータ・テスタ		
4	8-4　スピード・メータ・テスタ		
	8-5　スーパ・コンビネーション・テスタ		
5	8-6　ヘッドライト・テスタ		
6	8-6　ヘッドライト・テスタ		
7	8-7　排気ガス測定器（非分散型赤外線分析計）		
8	8-8　黒鉛測定器		
9	8-9　オパシメータ		
10	8-10　騒音計		
11	総合復習		
12	期末試験		